

「全農 ET 研究所では繁殖技術研修生 1 期生の募集を開始しました」

酪農家や和牛繁殖農家の後継者の方で将来、実家に戻って、人工授精や受精卵移植を自ら行おうと考えて、繁殖に関する知識・技能を学ぼうと志す、やる気のある方を全農 ET 研究所（日本では最大規模で牛体内受精卵の製造や ET を全国的に実施しています）では募集しております。

牛の繁殖に関する基礎的な講義や先端技術の知識習得のための講義はもちろん、試験牛を用いた繁殖実習や顕微鏡を用いた精液・受精卵の観察実習など繁殖に関しての知識と経験を豊かにしていただき、資格取得後は実践の中で、腕を磨いていただきます。人工授精師コース 2 年、受精卵移植コース 3 年間を原則としておりますが、有資格者は期間短縮も可能です。2-3 年後には実家に戻られて、人工授精や受精卵移植（ET）での受胎率が高位安定的な成績が出せるように、全農 ET 研究所の職員が誠心誠意、指導させていただきます。

身分は全農の臨時職員として有給で働いていただきます。応募方法・選考方法等の詳細は下記までお気軽にお問い合わせください。

日本の牛の生産性向上に寄与できる繁殖のプロを目指して自分自身を磨いてみませんか！！

<問い合わせ先>

〒080-1407 北海道河東郡上士幌町字上音更西 6 線 331-11

全国農業協同組合連合会 畜産生産部 ET 研究所

TEL : 01564-2-5811 e-mail: takabatake-tatsuo@zennoh.or.jp

担当者：高島（たかばたけ）

平成 28 年 4 月 繁殖技術研修生募集要項

- 対象者：将来、酪農家または和牛繁殖農家の仕事に従事するために牛の人工授精および受精卵移植等の繁殖に関する知識・技能を学ぼうと志す方で、心身健康で高校卒業以上の学歴を有する者、普通自動車免許を有し、マイカーでの通勤ができること
- 研修期間：平成 28 年 4 月 1 日から
人工授精師 (AI 師) コース (若干名)：原則 2 年間
受精卵移植師 (ET 師) コース (若干名)：原則 3 年間
- 研修場所：全国農業協同組合連合会 (JA 全農) 畜産生産部 ET 研究所
- 研修内容：(場内施設：黒毛和牛約 500 頭、乳牛未経産牛約 1000 頭)
(農家庭先 ET：3000 頭以上、農家庭先採卵：500 頭以上)
 - * 実践研修・・発情観察、人工授精・受精卵移植補助業務、牛の健康観察、不妊牛治療の助手等、採卵業務助手、
精液・受精卵の顕微鏡下での観察・農家庭先での ET や採卵業務助手など繁殖管理台帳等の管理
試験牛を用いた AI や ET 実習
 - * 座学研修・・上記に関連する基礎知識・最新技術の習得に関する研修 (月に最低 1 回実施)
 - * 資格取得・・本人の希望により人工授精師・受精卵移植師などの資格取得が可能
資格取得のための講習経費は自己負担、講習参加の出張費用は当方負担
- 研修日課：原則実働 7.5 時間
午前 8 時 30 分-12 時 00 分
午後 13 時 00 分-17 時 00 分
採卵日等で早出の日 (時間外手当付与) もあります。
- 休暇・休日：日曜日・祝日、年末年始、年次有給休暇
- 給与体系：
身分は臨時職員 (有期雇用契約約 6 ヶ月毎更新) として時給 800 円を支給します。
通勤費は別途支給します。退職金はありません。
健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険に加入。
宿泊施設 (アパート等) はこちらで手配します。(規定により一定の負担があります)
食事は各自の自炊となります。昼食は希望により取り寄せ可能です。
- 応募方法：AI 師又は ET 師コースを明記の上、履歴書を添えて下記宛先までご応募下さい。
 - * 一次選考・・書類選考後、応募者に直接、選考結果をご連絡します。
 - * 二次選考・・選考された方へは、面接・作文・適性検査等を実施します。

【お問い合わせ先】

〒080-1407 北海道河東郡上士幌町字上音更西 6 線 331-11

全国農業協同組合連合会 (JA 全農) 畜産生産部 ET 研究所 管理課

担当者：高島 (たかばたけ)

TEL: 01564-2-5811、email: takabatake-tatsuo@zennoh.or.jp